

## 01 背景・目的

観光2次交通は、長らく沖縄観光の大きな課題となっている。那覇空港を訪れた観光客の多くはレンタカーを利用し次の目的地へ向かうものの、慢性的な渋滞や路線バスの遅延などが発生している現状がある。本事業は、観光客が多様な交通手段を利用し、次の目的地に移動できるよう、主要な観光拠点である当該地を観光2次交通結節点として位置付け、空港直行バスの運行等の実証事業を行うことで、観光客の移動利便性の向上を図る。



## 02 プロジェクトの内容

- 名称：北谷ゲートウェイ
- 実証事業期間：令和6年7月25日(木)～令和8年3月末 ※予定

### ① ターミナル機能

- ◆ 空港直行バス／路線バス
- ◆ 美浜エリア周遊バス
- ◆ 貸切バス駐車場(約20台分)
- ◆ タクシー(4台分)
- ◆ 送迎車両乗降(1台分)
- ◆ 売店(交通アテンダントを配置)

### ② 那覇空港からの直行バス(沖縄県実証運行)

- ◆ 那覇空港発：5便/日、北谷ゲートウェイ発：5便/日

### ③ 美浜エリア周遊バス(沖縄県実証運行)

- ◆ 北谷ゲートウェイを起点に美浜エリアを周遊
- ◆ 約14便/日(約30分間隔)

### ④ 民間バス事業者の乗り入れ

- ◆ 東京バス：那覇空港・国際通り⇄北谷ゲートウェイ 9便/日
- ◆ 北部観光バス：北谷ゲートウェイ⇄沖縄本島北部リゾートエリア 8便/日
- ◆ 沖縄バス：豊見城営業所⇄北谷ゲートウェイ 3～6便/日 ※曜日によって変動
- ◆ ②を合わせるとこれまで計8便/日だった那覇空港⇄北谷のリムジンバスが計22便/日に増加 ※令和6年9月24日以降は減便予定
- ◆ 今後も民間事業者による北谷ゲートウェイを起点としたバスの乗り入れによる、更なる機能強化に取り組む

### ⑤ その他

- ◆ シェアサイクル(HELLO CYCLING)を設置
- ◆ 今後はシャトルカートの乗り入れについても検討中



## 03 期待される効果

■ 主要観光地となっている北谷町に観光2次交通結節点を設置することにより、以下の効果が期待される。

- ① シームレスかつ多様な交通手段を確保することによる**観光客の移動利便性の向上**
- ② 見知らぬ土地で自ら運転しなくても安心して移動できる**公共交通の利用促進**
- ③ 観光拠点エリア間の移動円滑化による**周遊性の拡大・観光消費額の向上**
- ④ 公共交通の利用促進による**那覇空港の渋滞緩和**

新しいバス・観光交通の拠点 北谷に誕生!

**北谷ゲートウェイ** Chotan Gateway

観光2次交通結節点

▼WEBサイトはこちら▼

